



連合鳥取専従役員6期12年・労働運動30年! よしだ まさし 鳥取県議会・鳥取市選挙区 補欠選挙に **吉田 正**さん推薦決定!

連合鳥取は、3月15日(金)告示・24日(日)投開票と決定した「鳥取県議会・鳥取市選挙区 補欠選挙」に、連合鳥取(前)副事務局長の吉田 正(よしだ まさし)さんを推薦することを、「第3回執行委員会(2024.2.22開催)」で決定しました。

【プロフィール】

1958年 6月 8日生(65歳)
1983年 4月 1日 トミタ電機株式会社入社
1994年10月 7日 トミタ電機労働組合結成・初代執行委員長
【産別/金属機械(現/JAM)】
2004年度~2005年度 連合鳥取執行委員
※2005年度/国民運動局長
2010年10月 トミタ電機株式会社退社
2011年 2月~ 連合鳥取組織アドバイザー就任
2012年度~2019年度 連合鳥取副事務局長(専従)
2020年度~2023年度 連合鳥取副事務局長
兼 東部地域協議会事務局長(専従)
2024年 1月~ 連合鳥取組織組合づくり相談員就任



吉田 まさし



鳥取駅前「36(さぶろく)協定」を訴える



東部地協定期総会にて



「労組リーダーセミナー」で後輩にレクチャー



子ども食堂のためのこめ作りに参加



連合鳥取
会長 山口一樹

連合鳥取は、2月22日の政治センター幹事会、第3回執行委員会において、鳥取県議会議員補欠選挙(鳥取市選挙区)の立候補予定者として前「連合鳥取副事務局長」、現「連合鳥取組織アドバイザー」の吉田 正(よしだ まさし)さんを擁立することを決定しました。

連合鳥取の運動を前進させ、そして賃上げにつながる政策を行っていく等を目的として、県政にぶつけていくためにも、生活者・労働者の代表として、私たちの声を議会に届けてもらうことが使命となります。

春闘のシーズンに構成組織は難しい取り組みとなりますが、かえって組合員と接する機会ができますのでチャンスととらえて取り組みます。



2024春季生活闘争特集

2024春闘スタート! - 春季生活闘争開始宣言集会を開催 -

2月3日(土)、連合鳥取はハワイアロハホール(湯梨浜町)において、「2024春季生活闘争開始宣言集会」を開催し、195人(うち女性39人・参画率20%)が参加しました。

冒頭、山口一樹会長は「昨年引き続き賃上げの流れを確かなものとし、労働組合のない労働者へ波及する取り組みを構成組織と一緒に進めよう」とあいさつを行いました。

続いて、河村正之事務局長が「連合鳥取春季生活闘争方針」の提起として、昨年の春闘のまとめと本年の基本的な考え方、「労使交渉のポイント」など具体的に解説をしました。

産別からの「事例報告」では、電機連合LIMNO労働組合の森本哲司執行委員長と、JAM神鋼機器工業労働組合の盛山修執行委員長から、「闘争前の準備」、「闘争の流れ」、「賃金プロット図」を使った具体的な交渉の様子などを説明いただきました。参加者からは「初任給」について具体的な質問があり、地域の実情を知る機会となりました。



団結してがんばろう!

最後に、「闘争開始宣言」採択と山口会長の「団結がんばろう」で締めくくり、2024春闘がスタートしました。



「春闘方針」を解説する河村事務局長



LIMNO労組 / 森本執行委員



神鋼機器工業労組 / 盛山執行委員長

鳥取県版「政労使会議」開催

1月31日(水)、鳥取県・鳥取労働局主催の鳥取県版「政労使会議」が鳥取県庁で開催されました。

初めに、鳥取県の平井伸治知事から「鳥取県の経済を好循環に転換させるためには賃上げが必要であり、それぞれが知恵を出し合い、一歩ずつ前進させることが必要だ」との力強いあいさつがあり、各行政機関の取り組みについての説明を受けました。

山口一樹会長は「継続した人への投資と、昨年を上回る賃上げの必要性、鳥取県内のすべての労働者への波及が重要である」と訴えました。

鳥取県経済団体からは「賃上げの必要性は十分に理解しているが、賃上げ原資の確保が課題であり、材料費や労務費の価格転嫁が進んでいない」など厳しい現状を訴えられました。

最後に、平井知事は「適正な価格転嫁ができる環境の整備や各種支援制度の充実など、引き続き政労使が連携し、取り組みを強化していきたい」とまとめ、鳥取県版政労使会議を終了しました。



写真上 / 山口会長

経営者団体との意見交換会を実施

2月9日(金)、連合鳥取は鳥取県内の経営者団体との意見交換会をホテルニューオータニ鳥取で開催しました。

冒頭、鳥取県経営者協会の平井耕司会長から「今日まで国において『政労使会議』などが精力的に開催され、ベクトルは同じ方向であると認識している。デフレ脱却へ向け経済成長を伴う賃金引上げが必要である」とあいさつがあり、山口一樹会長からも「昨年引き続き人への投資を継続させるために県内の大多数を占める中小企業の賃上げが不可欠であり、そのためにもぜひ価格転嫁に取り組んでいただき、県内経済が好循環するようご協力をお願いしたい」と訴えました。

その後、出席した経営者協会・経済同友会・商工会議所連合会・中小企業団体中央会それぞれから現在の状況や所感が述べられ、連合鳥取からは2024春季生活闘争方針を説明し理解を求めました。

さらに、個別項目の意見交換では労務費の価格転嫁や人手不足(人材確保)、社会保障制度、仕事と家庭の両立支援などについて幅広く率直な意見が交わされました。



連合鳥取参加者



会場の様子

【連合鳥取・参加者】

- | | |
|------------|------------|
| 山口 一樹会長 | 北畑 仁史副会長 |
| 河村 正之事務局長 | 松本 善樹副事務局長 |
| 山下 浩二副事務局長 | 寺田 真里副事務局長 |
| 藤縄 和彦副事務局長 | |

東・中・西部地協「単組代表者会議」で春闘方針の浸透を図る!

東部・中部・西部地域協議会は「連合鳥取2024春季生活闘争方針」の浸透を目的に「単組代表者会議」を開催し、延べ163人の組合役員と組合員が参加しました。

また、労働組合の活動に理解を深めていただくため、各会場に推薦議員のみなさんにも参加いただき、各地域協議会議長の音頭で「春闘勝利に向けて団結してがんばろう!」と三唱し氣勢を上げました。

東部地協 73人参加

2月16日(金) / さざんか会館(鳥取市)

・2024春季生活闘争方針説明



春闘方針を説明する河村事務局長



真剣に聴く参加者



参加者全員でがんばろう!

中部地協 42人参加

2月16日(金) / 倉吉体育文化会館

・2024春季生活闘争方針説明
・地協活動報告・推薦議員活動報告



春闘方針を説明する松本副事務局長



推薦議員活動報告の様子



団結してがんばろう!

西部地協 48人参加

2月14日(水) / 県立武道館

・2024春季生活闘争方針提起
・地協(春闘&メーデー)取り組み提案



会場の様子



団結がんばろう!



がんばろう!がんばろう!がんばろう!!

西部地協発 青女フォーラム 「第10回定期委員会」開催

連合西部地協青女フォーラムは、2月13日(火)、ふれあいの里にて「第10回定期委員会」を開催し、昨年1年間の活動の振り返りと向こう1年間の活動方針を満場一致で決定しました。

青女フォーラムは、若手組合員の組合離れを止めるためにもレクリエーションや学習会を通じて、普段関わることのない他産別の若手組合員と交流し、「つながりを広め、将来を担う若手組合員と一緒に西部地域を盛り上げていく」と力強く宣言し、最後は森本和奏新委員長(全労金)の「団結がんばろう!」で締めくくりました。

(寄稿/青女フォーラム事務長 山根 賢志さん)

役職名	名前	組織名
委員長	森本 和奏	全労金
副委員長	平林 天佑 本田 凱	JAM 全水道
事務長	山根 賢志	自治労
常任委員	8人(JR連合・UAゼンセン・紙/バ連合・JP労組・運輸労連・電力総連・全国ガス・全国農団労)	



あいさつする宮根拓也委員長



会場の様子



全員で「団結がんばろう!」



新委員長 森本和奏さん

Information ※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

第95回鳥取県メーデー大会

スローガン
連帯の力で 平和と人権を守り
誰もが安心して暮らせる
新たなステージへ!
被災地の復旧・復興に向けて
みんなで支え合い・助け合おう!

開催日 2024年4月27日(土)
開催地 県内3会場

- ・中央大会(=東部)
- ・中部地域大会
- ・西部地域大会

※現在、各地域協議会を中心に開催方法・内容等企画中。決定次第、ご案内します。

募集! 「ワークルールクイズ」に参加しよう!

- ★産別を通じて「問題」を配布します。
設問は5問(「ワークルール検定」問題より引用)
- ★メーデー大会当日に応募箱に投函してください。
- ★後日、採点し、5問すべての正解者の中から、抽選で300人に産別を介して賞品を渡します。

「フードドライブ」にご協力ください

当日、会場にお持ちください。

— 詳しくは各地域協議会からご案内します —





湯原俊二 — 緑肥の想い —

予算委員会で岸田総理に、 そして本会議場で登壇し質問しました!



予算委員会(2月7日)で岸田総理に、「アベノミクス・新自由主義の国づくりにより、地方が衰退し国民は疲弊している。20年後の人口推計では、地方は危機的状況になる。選挙区は地方でも東京生まれ東京育ちの世襲議員は、地方の実態が分からないという世襲政治の弊害がある」と若者の社会参加意識の低下とシティズンシップ教育について質問しました。

また、本会議場(2月15日)では、「能登半島地震の被災者支援のあり方、政治とカネの問題、地方財政や会計年度任用職員の問題、マイナ保険証や定額減税で自治体に負担がかかっている実態。その上で、自民党政治により、所得格差・地域間格差が拡大し、国民の生活は厳しくなっている。一方、自民党政治はバラ色のキャッチフレーズだけが踊っている。政権交代で政治を変えなければならない」と訴えました。



予算委員会(2024.2.7)で質問(写真上)&答弁(下)



衆議院本会議場で立憲民主党を代表し質問(2024.2.15)

湯原俊二衆議院議員 公式YouTubeチャンネル→

公式YouTubeチャンネルを開設 “チャンネル登録”をお願いします!



※インターネットで 衆議院TV → 湯原俊二 を検索ください。過去の発言風景がご覧になれます。

湯原さんのホームページもご覧ください 二次元コードからもつながります▶



“ザ・議員”

おきはる ひでお 興治 英夫 鳥取県議会議員

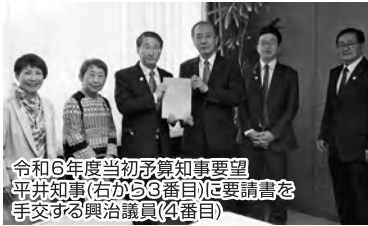
人と地域と産業を守る。
昨年の私の取り組みの一端をご紹介します。

1. 特別高圧電力料金に補助金交付
昨年5月JAM山陰から相談を受け、県の担当部課に要請しました。

低圧契約、高圧契約については国からの補助金で電力料金の値下げが行われていましたが、特別高圧契約は対象外でした。国からの重点支援交付金を活用して、県内中小企業に高圧契約並みの補助金交付ができるようになりました。

2. 不登校の子どもたちへの支援
県内の不登校の子供の数が、過去最多を更新しました。長期欠席のうち3~4割が起立性調節障がい(思春期に発症する自律神経系の不調で、朝起きられないなどの症状がある)を併発しており、適切な対応ができるようガイドラインの作成を求め、年度内に作成することになりました。

またオンライン授業を受けたりできる校内サポート教室など、学校援助職も増やすことができました。



令和6年度当初予算知事要望
平井知事(右から3番目)に要請書を
手交する興治議員(4番目)

なかだ とし ゆき 中田 利幸 米子市議会議員

2024年の年明けは能登半島地震から始まりました。改めて、地球規模の自然との向き合い方を考えさせられます。

さて、私の議員生活も5月に25年を迎えます。この間、働く者、生活者の視点から、進む高齢化、経済・雇用環境、次世代の育成環境をテーマに活動してまいりました。約20年前、高齢社会への対応として移動効率の良い都市構造へと、交通結節点と公共交通を基盤としたまちづくりをめざし、その核となる米子駅南北のバリアフリー化(南北自由通路)を提案し、昨年夏に開通に至りました。



JR米子駅南口

引続き交通結節点機能の充実をめざし、優しさと活力を感じる生活基盤をめざして取り組みたいと思います。



昨年7月に開通したJR米子駅南北自由通路(通称がいなロード)開通時の視察にて

ドライバーに対する時間外労働の上限規制適用まで残り一か月を切りました。この上限規制により物流が停滞することが予測され、経済や国民生活への影響が懸念される。活への影響が懸念される。活への影響が懸念される。活への影響が懸念される。活への影響が懸念される。

ドライバーの時間外労働

(ゆたか)



—鳥取県議会(鳥取市選挙区)補欠選挙3月15日(金)告示 24日(日)投開票 決定—
あなたの1票が未来を決める 必ず投票に行こう!

